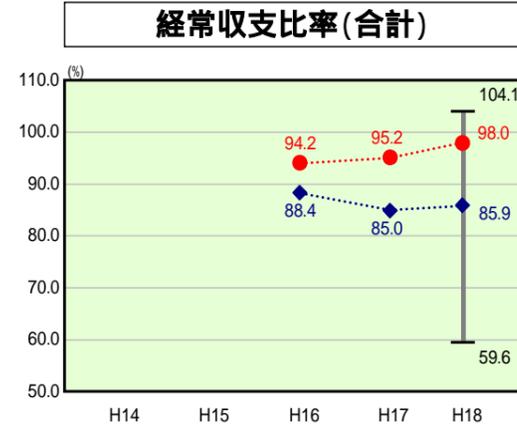


# 歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

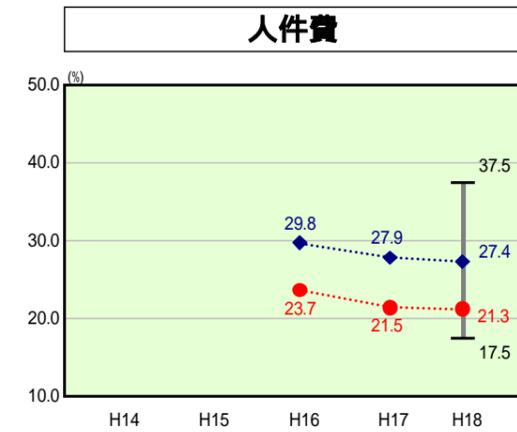
## 経常収支比率の分析



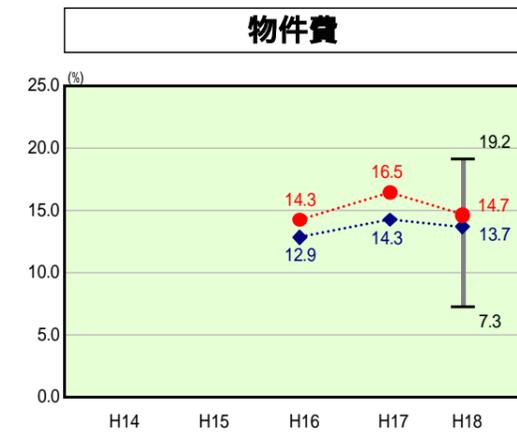
当該団体値 ●  
類似団体内平均値 ◆  
類似団体内最大値 ▮  
類似団体内最小値 ⊥

人口	112,829人(H19.3.31現在)
面積	755.17 km <sup>2</sup>
歳入総額	49,029,480千円
歳出総額	47,778,122千円
実質収支	1,131,877千円

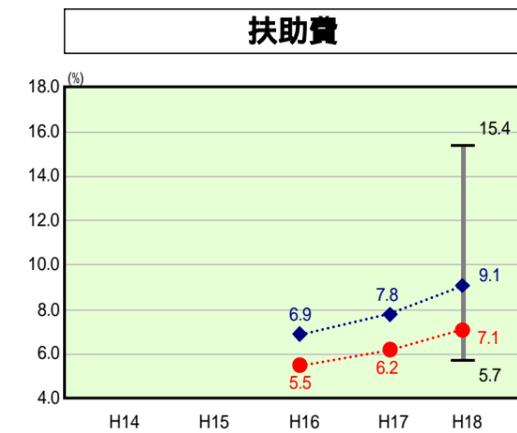
H18 類似団体内順位 15/19  
全国市町村平均 90.3  
石川県市町村平均 92.9



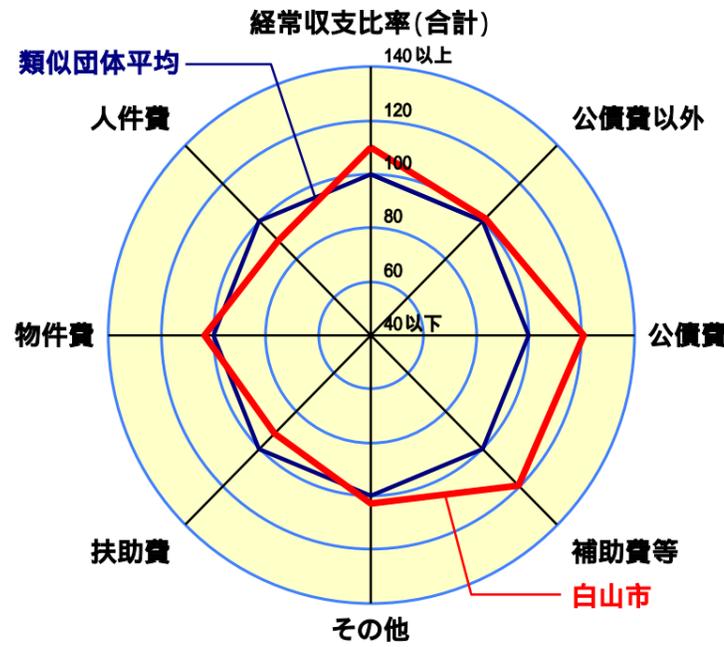
H18 類似団体内順位 4/19  
全国市町村平均 28.2  
石川県市町村平均 22.9



H18 類似団体内順位 13/19  
全国市町村平均 12.9  
石川県市町村平均 12.7



H18 類似団体内順位 5/19  
全国市町村平均 8.6  
石川県市町村平均 7.9



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

#### 【経常収支比率】

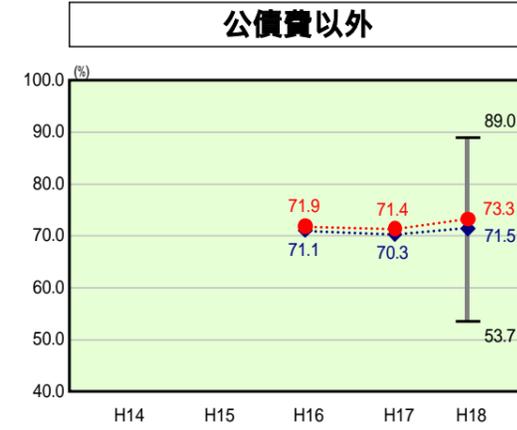
人件費は類似団体平均と比較すると低くなっているが、公債費が合併前に各自治体で実施した大型事業の償還のピークを迎えており、類団平均を10%上回っている。中期財政計画に基づき事業の取捨選択を行うと併し、学校建設等に係る新発債については合併特例債の有効活用や高利債の借換により抑制に努める。類団平均を大きく上回る補助金等についても、行財政改革実施計画書に基づいた整理合理化を図る。

#### 【人件費及びそれに準ずる費用、公債費及び準公債費】

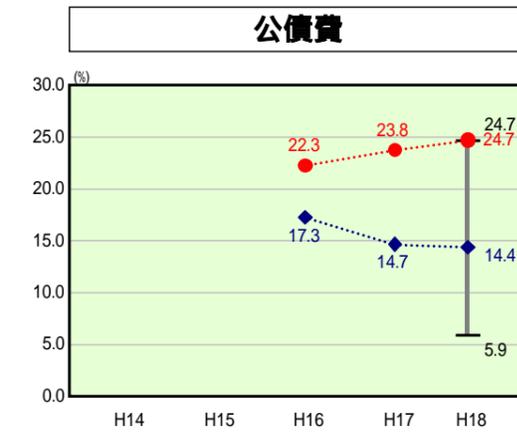
ごみ処理業務や消防業務を一部事務組合で行っていることにより、組合負担金等が類団平均を上回っており、今後はこれらも含めた人件費並びに公債費全体についても抑制していく必要がある。

#### 【普通建設事業】

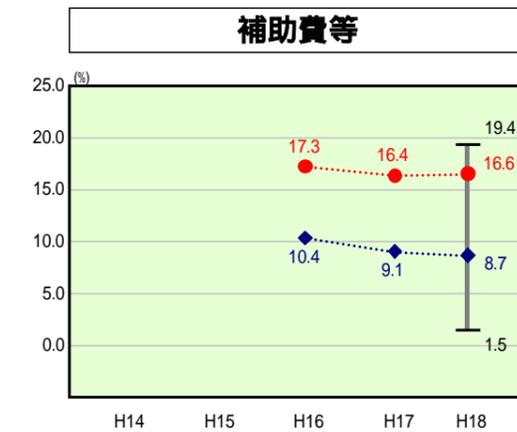
普通建設事業費の人口1人当たり決算額は、類似団体平均を上回っているが、これは市域が広く重点的な施設整備が難しいことによるものであるが、対前年度比の減少率では、大きく上回っており、今後も公債費同様、事業の取捨選択・抑制・有利な財源の確保に努める。



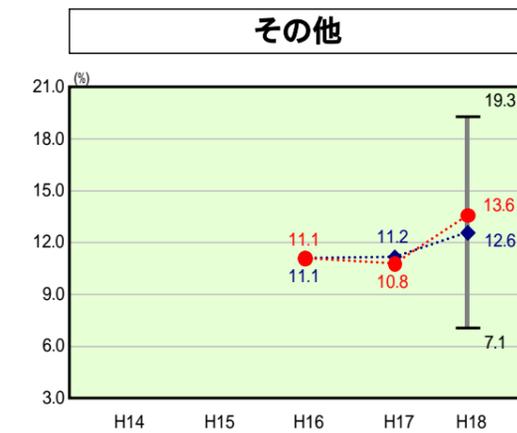
H18 類似団体内順位 11/19  
全国市町村平均 70.5  
石川県市町村平均 68.1



H18 類似団体内順位 19/19  
全国市町村平均 19.8  
石川県市町村平均 24.8



H18 類似団体内順位 18/19  
全国市町村平均 10.2  
石川県市町村平均 12.6



H18 類似団体内順位 10/19  
全国市町村平均 10.6  
石川県市町村平均 12.0